一般質問

・小中学校の学校再編について



川口知幸

問 **小中学校の学校再編について、現在の進捗状況を伺う**

答 本年度は、市民アンケートやワークショップ等で意見を伺っております。今後の総合教育会議や市民ワークショップなどでの協議を経て、方向性の案を提示する予定です。

問 **これまでのアンケート結果やグループワークで出された代表的な意見を、いくつか披露してもらえるか**

答 アンケートについては、現在分析を行っております。ワークショップでは「これからの教育に大切なこと」として、地域との交流や多様性、御前崎らしい教育等の意見が出され、本庁1階ロビーでの掲示やホームページへの掲載により周知をしております。

問 **複数の方向案を定めていくうえで、予算措置を講じる必要があるのではないか**

答 方向性案を検証していく過程で、必要に応じ適切なタイミングで予算措置を行ってまいります。

問 **年度末までに方向性案を示すと認識しているが、さらに最終案をまとめるまでどれくらいの期間を要すると考えているか**

答 最終案の時期は現時点では決まっておらず、今後の議論の進捗によります。議論が破綻することのないよう、丁寧かつ慎重に進めてまいります。

問 **牧之原市の榛原地区では、開校準備委員会がスタートを切った。他市と連携し、情報共有をどのように行うか**

答 先行事例や取り組みについて、積極的に情報共有を行い、今後活用を図っていきたいと考えております。

問 **学校再編の方向性決定に係る市長の考えはいかがか**

答 本市の未来を見据えた人材育成は市全体の重要課題です。市民・保護者の意見と教育委員会の考えを尊重し、市として責任を持って判断してまいります。

一般質問

・市民投稿システムの運用状況と効果について
・越境草木への対応基準について



石川貴広

問 **※市民投稿システムの運用状況と効果について伺う**

答 令和6年度の運用開始から現在まで34件の投稿があり、そのうち、維持管理課への投稿16件は、主に道路の陥没や倒木で、すべて対応済みです。施設の不具合情報の早期把握と速やかな対応につながり、一定の効果があると認識しております。

問 **民有地から道路へせり出した草木（以下「越境草木」）を市民投稿システムの対象とする考えについて伺う**

答 交通安全上、早期に状況を把握することは重要であり、情報提供の窓口を限定することについては今後検討してまいります。一方、対象拡大による投稿件数の増加で、他の緊急時対応が遅れることも懸念しております。

問 **市の越境草木への対応基準について伺う**

答 現在、マニュアルや対応基準は作成しておりませんが、道路法等の関係法令を参考に、緊急性などを考慮して対応しております。担当者によって対応に差が生じないよう、一定の考え方や運用について整理してまいります。

問 **越境草木への対応について、市民にも分かりやすい基準を示す考えについて伺う**

答 建築限界の範囲を広報誌等で示すなど、市民へ分かりやすい周知を行ってまいります。

問 **道路の安全確保のために、市民や町内会が所有者の了解を得て越境草木を切除した場合の処分費用について伺う**

答 現在は搬入した方に処分費用をご負担いただいておりますが、公共的な清掃・伐採活動で発生した草木については、市が管理する仮処分場への無償搬入を検討してまいります。



市公式LINEの市民投稿システム画面

※市民投稿システム…市民の皆さんに見つけていただいた、市内の道路の舗装や側溝、カーブミラーの破損個所を、スマートフォン等からご連絡いただき、早期対応につなげるための仕組み